

■ 堺市と関西大学との地域連携事業 ■

関西大学総合情報学部が
メディアアートや地図アプリなどで堺の魅力を発信
～ 堺市立町家歴史館・山口家住宅で「Art Media Design展」を開催 ～

関西大学総合情報学部では、同学部の学生約30人が中心となり、3月7日（土）・8日（日）の2日間、堺市立町家歴史館・山口家住宅において「Art Media Design展（AMD展）」を下記のとおり開催します。

山口家住宅は、江戸時代初期に建てられた町家で、国の重要文化財にも指定されている貴重な建造物です。本イベントでは、堺市の協力の下、山口家住宅をはじめとする堺市の魅力を発信することを目的に、本学学生とその指導にもあたっているアーティストによるデジタルメディア作品を展示します。

当日は、山口家住宅の魅力発信を目的に制作した特設サイト「堺町家物語」、写真の一部だけを動かすことで観る者の注意をその部分に集める「シネマグラフ」という手法を用いた映像作品、山口家住宅400年の歴史を障子に投影する映像作品として表現した「Back to the 山口家」、話しかけると返事を返してくれるロボット「老夫婦型会話ロボット」といったデジタルメディア作品が、昔ながらの町家に溶け込み、懐かしくも新しい空間を体感いただけます。

記

- 1 日 時 3月7日（土）・8日（日）10:00～17:00（入館は16:30まで）
- 2 場 所 堺市立町家歴史館 山口家住宅
堺市堺区錦之町東1丁2-31
（阪堺電気軌道阪堺線「綾ノ町」停留場下車、徒歩3分）
- 3 内 容 特設サイト「堺町家物語」、「Back to the 山口家住宅」などの映像作品、「老夫婦型会話ロボット」といったデジタルメディア作品を展示し、それらが昔ながらの町家に溶け込み、懐かしくも新しい空間を体感いただくことで、山口家住宅ならびに堺市の魅力を発信します。
- 4 備 考 展示会は無料ですが、山口家住宅への入館料が別途必要です。
入館料：200円、20人以上の団体は一人160円
（中学生以下、65歳以上の方、障がいのある方は無料）

以 上

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：石田、依藤
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel. 06-6368-1131 Fax. 06-6368-1266
www.kansai-u.ac.jp

この伝統を、超える未来を。



■ 堺市と関西大学との地域連携事業「Art Media Design 展」開催概要

- 目的 学生とその指導にもあたっているアーティストが制作したデジタルメディア作品を展示し、それらが昔ながらの町家に溶け込み、懐かしくも新しい空間を体感いただくことで、山口家住宅ならびに堺市の魅力を発信します。
- 実施者 総合情報学部の専任教員4人、学生約30人、アーティスト2人（協力：堺市）
- 開催日時 3月7日（土）・8日（日）10:00～17:00（入館は16:30まで）
- 場所 堺市立町家歴史館 山口家住宅
堺市堺区錦之町東1丁2-31
（阪堺電気軌道阪堺線「綾ノ町」停留場下車、徒歩3分）

○主な展示作品

■特設サイト「堺町家物語」

山口家住宅の魅力発信を目的に制作した特設サイト。山口家住宅の歴史や見所、阪堺電車道中での楽しみ方、町家の豆知識など学生が企画・制作した動画を交えて紹介している。その他、現地周辺をめぐる3つの「おすすめコース」を紹介し、堺ガイドマップ（地図アプリ）にも連動し、山口家住宅への来訪をきっかけとして堺の魅力を伝えます。

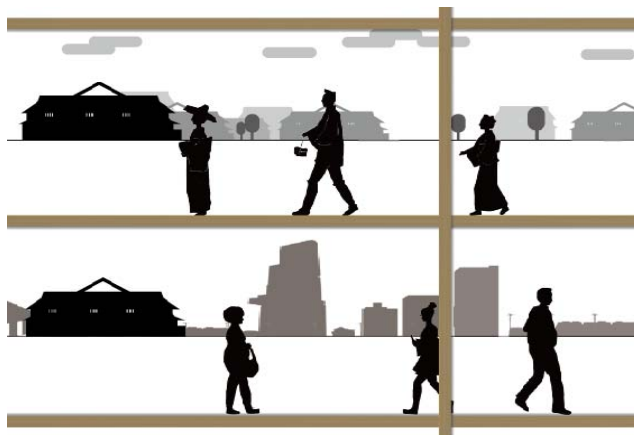


特設サイトURL：<http://www.hz.kutc.kansai-u.ac.jp/city.sakai/machiya/>

地図サイトURL：<http://www.hz.kutc.kansai-u.ac.jp/city.sakai/guide/map/>

■Back to the 山口家住宅

山口家住宅の400年の歴史を、障子に投影する映像作品として表現しました。障子のマス目ごとに江戸時代、明治時代、昭和、平成のそれぞれが魅せる風景や人物のアニメーションが映り、各時代には江戸時代から変わらない山口家住宅が佇みます。山口家住宅が現代にとって貴重な存在であるを感じとってもらうことを狙いとしています。



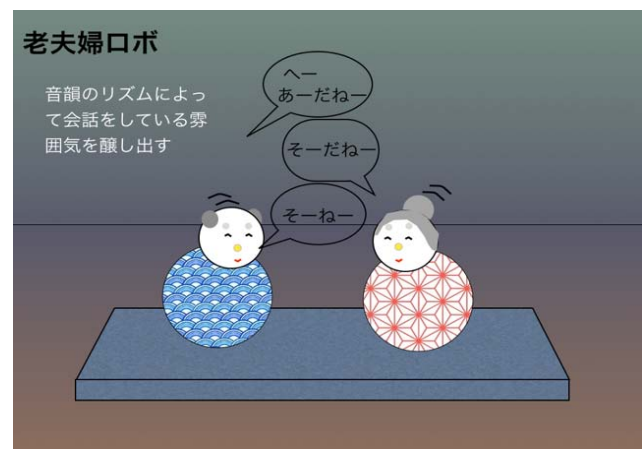
■nanamachigraph

写真の一部だけを動かすことで、観る者の注意をその部分に集める「シネマグラフ」という手法を用いた映像作品を、山口家住宅の家屋内にて上映します。時間が止まっている写真の世界の中でただひとり、自分だけ時間が進んでいるような錯覚を覚える。普段の日常とはひと味違う、山口家住宅周辺や七まち一带の風景をご覧ください。



■老夫婦型会話ロボット

縁側やお茶の間が一般的であった時代、ゆるやかに流れる時の中で睦まじく会話をしている老夫婦を想定してほっこりするロボットを制作しました。会話をしているロボットに話しかけると、それとない返事を返してくれることもあり、ロボットと気の置けない会話を楽しむことができます。新しくもどこか馴染みのある、そんな懐かしい雰囲気を出してくれるロボットが来訪者を出迎えてくれます。



◆重要文化財「山口家住宅」

国内でも数少ない江戸時代初期に建築された町家。昭和41年に国の重要文化財に指定。江戸時代においては、近隣農家の庄屋を務め、奉行所と町方、村方をつなぐ役割を担っていた。



◆メディアアート

20世紀中盤より広く知られるようになった、芸術表現に新しい技術的発明を利用する、もしくは新たな技術的発明によって生み出される芸術。特に、ビデオやコンピュータ技術をはじめとする新技術に触発され生まれた美術であり、またこういった新技術の使用を積極的に志向している。